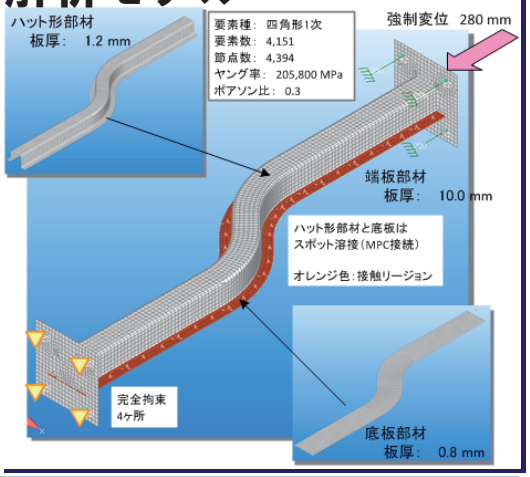
座屈解析

薄鋼板構造部材の座屈挙動シミュレーション

TP-STRUCT では、

静的陽解法の頑健性と精度の高さを活かして、構造部材の大変形座屈挙動の予測計算が迅速に実施できます。

解析モデル



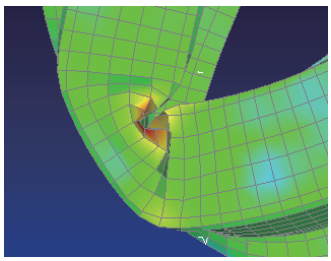
計算環境

OS：Windows XP 64 bit

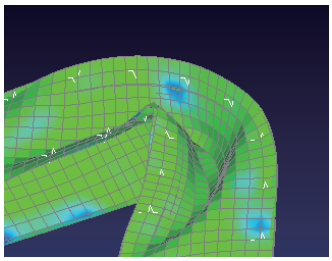
CPU：Intel®Core™2 Duo CPU E8400 @ 3.00GHz

メモリ：2GB

大変形



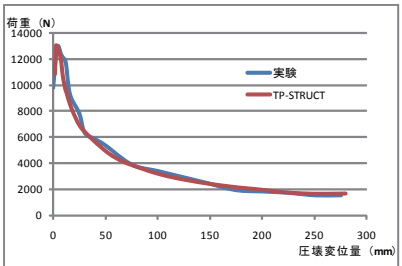
局部的な大変形にも対応
（計算が止まらない）



材料同士の接触にも対応

高精度

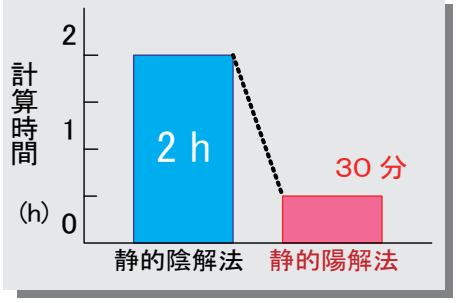
変形過程時に発生する変位－荷重の推移を高精度に予測



変位と荷重の関係

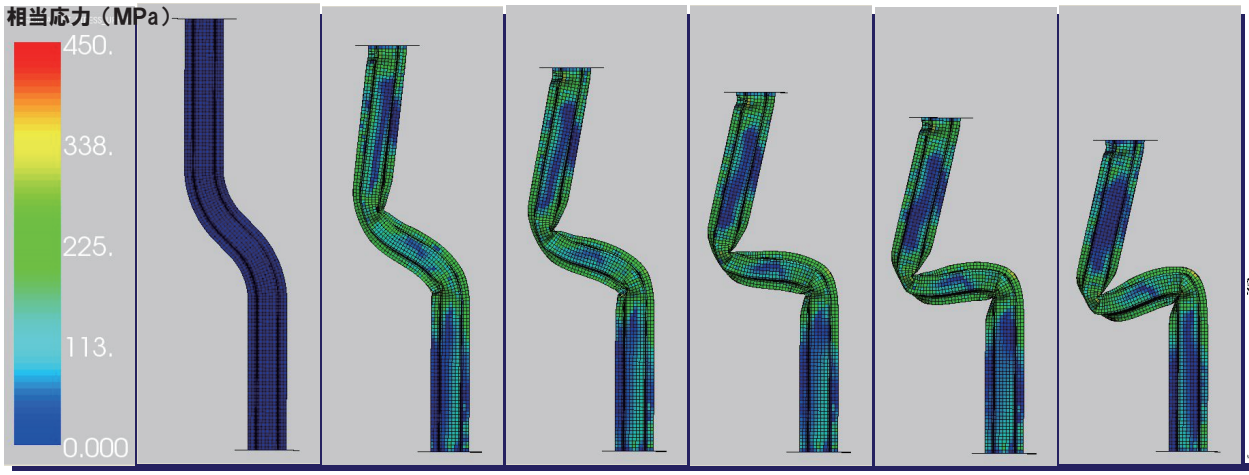
短時間

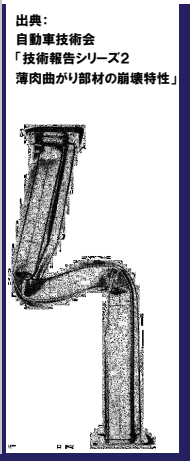
座屈問題（上図解析モデル）を市販ソフトの 1/4 の計算時間で解析



解析結果

強制変位量 56 mm 112 mm 168mm 224 mm 280 mm 実験結果





RIKEN VCAD

Your Objective, Our Creation TRIAL PARK 株式会社トライアルパーク